

ペンでつながる 心のタスキ

童謡詩人

雨情の里を訪ねて



森山 英隆

茨城県が誇る偉大な詩人、野口雨情は数多くの童謡、民謡、校歌を作詞しており、その著名な作品は、いつの世でも誰からも愛唱されています。

ます。

私が所属する牛久フロイデ混声合唱団は、2011年秋の牛久市民文化祭において、仁田悦朗先生編曲による「野口雨情童謡メドレー」を合唱しました。

「赤い靴」に始まる7曲を歌い終え、客席から万雷の拍手をいただいたことが昨日のように思い出されます。

東日本大震災で津波被害を受けた野口雨情資料館の修復を待って、このたび雨情の里を訪ねることとしました。

4月16日上天気のなか、先生と合唱団員約40人は牛久市の研修用バスの提供を受け、北茨城市磯原町にある野口雨情生家・資料館、同記念館を訪問しました。

大変お忙しい中、お孫さんの野口不二子さんが出迎えて下さり、直々に野口雨情の系譜などについて、丁寧な説明があり、最後には野口不二子さんと一緒に「赤い靴」と「しゃぼん玉」を歌うという貴重な経験をさせていただきました。

また近いうちに、野口雨情の歌をステージで合唱する機会があればと願いながら、楽しい研修バスツアーを終えました。

(牛久市、牛久フロイデ混声合唱団)

*牛久市の寺門由紀子さん(17日付)からたすきを引き継ぎました。